

対外・対内証券投資の動向(2018年5月分)

対外・対内ネットでは資金流出超に

- 財務省の「対外及び対内証券売買契約等の状況(指定報告機関ベース)」によると、5月の対外証券投資は▲2,324億円(前月は+2兆7,794億円の取得超)と3か月ぶりに処分超へ転じた。また、対内証券投資も▲1兆9,201億円(前月は+4兆5,532億円の取得超)の処分超に転じた。この結果、対外・対内ネット合計では▲1兆6,877億円(前月は+1兆7,738億円の資金流入超)と資金流出超へ転じた。
- 5月の対外証券投資は、中長期債は前月の+1兆6,127億円の買い越しから▲1兆1,232億円の売り越しに転じた。短期債も前月の+2,316億円の買い越しから▲749億円の売り越しに転じた。一方、株式・投資ファンド持分の買い越し額は前月の+9,351億円から+9,657億円へと拡大した。
- 投資家部門別では、預金取扱機関は前月の+110億円の買い越しから▲1兆9,403億円の売り越しに転じた。また、銀行等及び信託銀行(信託勘定)は買い越し額が前月の+1兆3,068億円から+8,817億円に縮小し、生命保険会社も買い越し額が前月の+1兆1,384億円から+2,505億円に縮小した。このほか、金融商品取引業者も買い越し額が前月の+1兆799億円から+8,719億円に縮小した。一方、投資信託委託会社等は前月の▲3,332億円の売り越しから+1,958億円と4か月ぶりに買い越しへ転じた。
- 5月の対内証券投資では、短期債は前月の1兆6,826億円の買い越しから▲1兆6,384億円の売り越しへと転じた。また、株式・投資ファンド持分も前月の+1兆4,025億円の買い越しから▲6,159億円の売り越しに転じた。一方、中長期債の買い越し額は+1兆4,681億円から+3,342億円に縮小した。

国際為替部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌 大輔

03-3242-7065

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

マーケット・エコノミスト

佐々木 貴彦

03-3242-7065

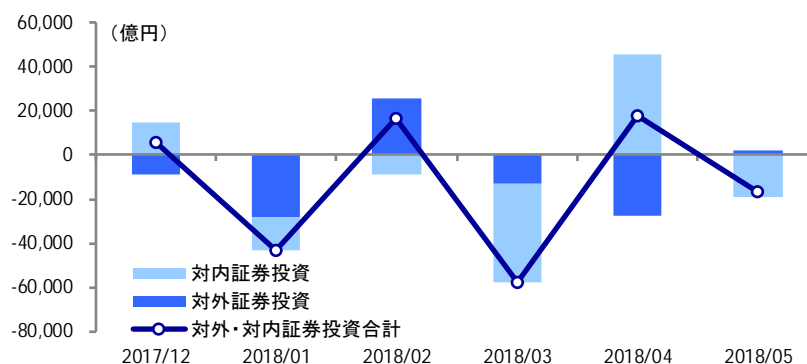
takahiko.sasaki@mizuho-bk.co.jp

浅野 江梨子

03-3242-7065

eriko.b.asano@mizuho-bk.co.jp

図表 1: 対外・対内証券投資の動向



(注)ここでは、プラスは資金流入超、マイナスは資金流出超を示す。

(資料)財務省、INDB、みずほ銀行

(※図表の計数は詳細項目から合算しており、公表値と僅かに一致しない場合がある。以下同。)

お客さま各位

ここではレポートの一部をご紹介します。
しています。

レポート全ページをご希望の方は、
お取引いただいているみずほ銀行の
お取扱店、またはお取引担当部まで
お問い合わせください。

以上